

# 第6回教育委員会協議会

〔幡多地域：黒潮町、四万十市、三原村、宿毛市、大月町、土佐清水市〕

## 次第

1 開催日時 平成30年1月24日(水) 18:00~20:30

2 場 所 四万十市立中央公民館 大会議室

3 内 容  
17:30~ 受 付

18:00~ 開 会

### 議 題

(1) 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の策定について

(2) 幡多地域の県立高等学校の現状、今後の状況について

(3) 地域からの意見聴取  
ア 黒潮町

イ 四万十市

ウ 宿毛市

エ 土佐清水市

(4) 会場からの意見聴取

閉 会

# 県立高等学校再編振興計画 後期実施計画(H31～H35年度)策定スケジュール

平成29年度							平成30年度											
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>入試・議会・定例会</b> 臨時教育委員会 9月議会報告 12月議会 入試出願・検査 2月議会報告 定例教育委員会							定例教育委員会 6月議会報告 定例教育委員会 9月議会報告 12月議会報告 定例教育委員会 2月議会											
「最終とりまとめ(パブコメ案)」決定 パブリックコメント(パブコメ)実施 必要に応じてパブコメを踏まえた修正等							「後期実施計画」策定 冊子配布 周知のための「地区別説明会」開催											

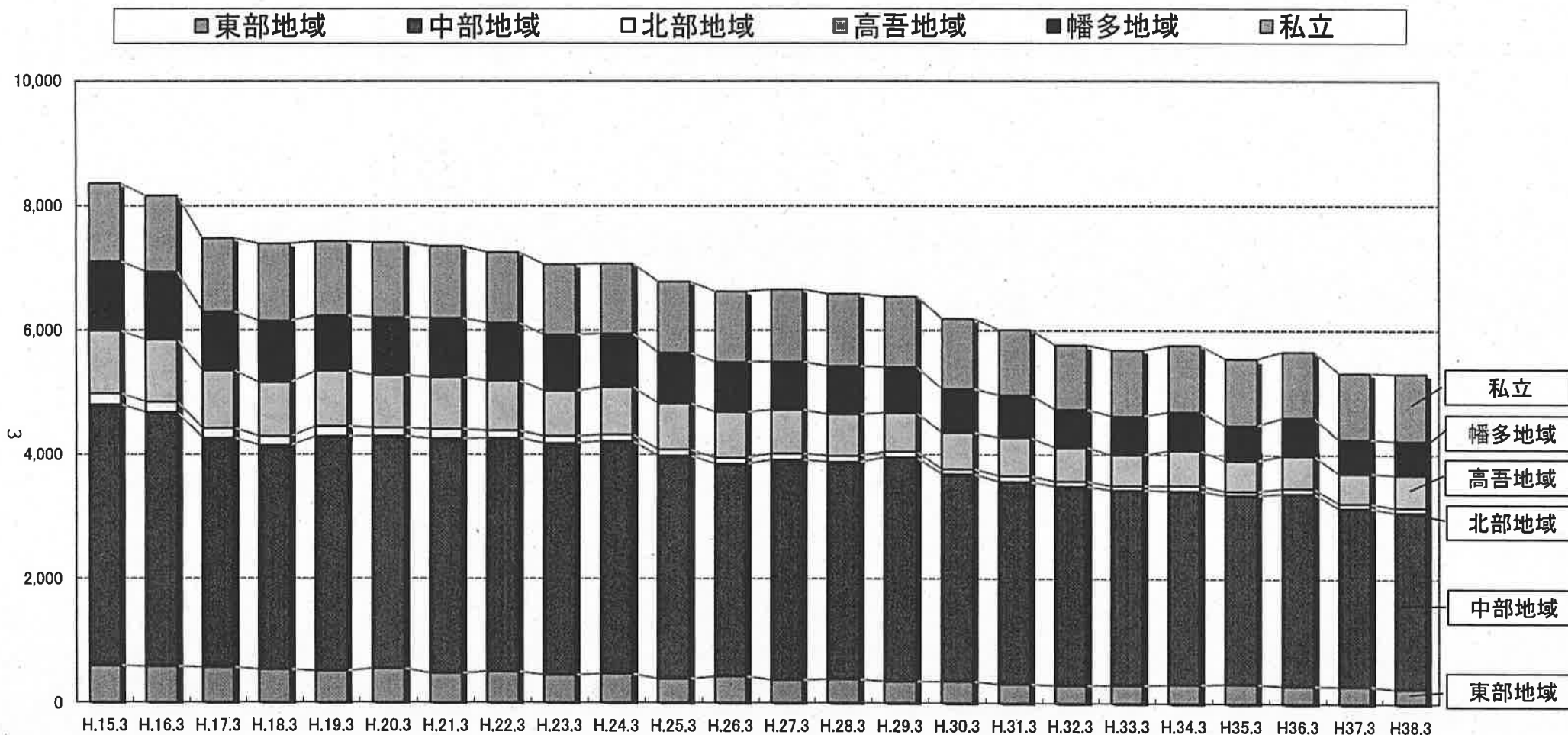
## 津波浸水域の県立高等学校一覧

資料2

	市町村名	学校名	10mメッシュ 最大クラス(L2)の津波 堤防なしの場合 (H24.12.26南海地震対策課配布データ)		校舎 構造・階数	避難場所等				
			浸水深 (m)	30cm津波 到達時間(分)		避難場所	標高 (m)	広さ (㎡)	避難距離 (m)	避難時間 (分)
1	安芸市	安芸	5m	57分	非木造 4階建	北舎屋上	23.5	840	—	—
2		安芸桜ヶ丘	5m	95分	非木造 4階建	安芸市総合運動場(補助グラウンド)	20	13000	200	10
3	香南市	城山	4m	39分	非木造 4階建	南舎屋上(地域住民は北舎屋上)	26	650	—	—
4	高知市	高知東	2m	190分	非木造 4階建	校舎3・4階	9	1290	—	—
5		高知南	3m	36分	非木造 4階建	校舎4階及び屋上	12.5	2320	—	—
6		高知工業	3m	47分	非木造 4階建	校舎3・4階及び屋上	14	3110	—	—
7		高知追手前	2m	134分	非木造 4階建	高知城・新館4階等状況に応じて ※右データは高知城	44.4	2500	1000	15
8		高知丸の内	1m	191分	非木造 4階建	北舎2・3・4階	6.5	945	—	—
9		高知小津	1m	243分	非木造 6階建	校舎の4階以上の教室と6階の食堂(本館東)	15.1	1810	—	—
10	土佐市	高知海洋	8m	25分	非木造 5階建	近くの高台	40	400	500	8
11	須崎市	須崎	7m	28分	非木造 4階建	学校の裏山にある避難道を上って、山頂にある須崎市斎場	83	—	300	15
12	宿毛市	宿毛	7m	35分	非木造 4階建	つつじ霊園	70	1000	1000	15
13	土佐清水市	清水	12m	11分	非木造 3階建	学校裏山または近くの高台 ※右データは高台	43	50	125	10

# 地域別中学校卒業生数の推移 H15.3~H38.3 ただし、H30.3以降は推計

資料3



学区	H.15.3	H.16.3	H.17.3	H.18.3	H.19.3	H.20.3	H.21.3	H.22.3	H.23.3	H.24.3	H.25.3	H.26.3	H.27.3	H.28.3	H.29.3	H.30.3	H.31.3	H.32.3	H.33.3	H.34.3	H35.3	H36.3	H37.3	H38.3	
東部地域	594	581	570	535	512	550	474	504	447	468	390	426	372	385	348	352	309	289	294	305	313	287	280	237	
中部地域	4,208	4,096	3,698	3,614	3,782	3,748	3,787	3,766	3,736	3,750	3,587	3,423	3,539	3,489	3,604	3,334	3,257	3,204	3,137	3,114	3,036	3,094	2,862	2,837	
北部地域	182	170	153	146	162	133	149	116	118	106	104	94	103	100	94	79	92	83	67	86	66	83	79	79	
高吾地域	1,007	1,003	931	867	889	848	836	805	726	760	741	740	701	670	623	595	619	541	497	563	489	517	481	523	
幡多地域	1,117	1,091	949	994	891	931	953	930	903	865	817	806	777	778	739	702	686	609	620	620	565	615	550	548	
私立	1,252	1,227	1,180	1,239	1,200	1,204	1,158	1,136	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,065	1,067	1,083	
合計	8,360	8,168	7,481	7,395	7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,626	6,658	6,585	6,543	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307	
												H25.3卒業生比	▲ 155	▲ 123	▲ 196	▲ 238	▲ 589	▲ 769	▲ 1,013	▲ 1,096	▲ 1,018	▲ 1,238	▲ 1,120	▲ 1,462	▲ 1,474
												前年度比	▲ 155	32	▲ 73	▲ 42	▲ 351	▲ 180	▲ 244	▲ 83	78	▲ 220	118	▲ 342	▲ 12

平成27年度以降の入学数又は在籍者数の実態（学校別一覧）

資料4

白抜き：最低規模を下回っている      ■：定員に対して40人以上下回っている      □：定員の半分以下

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
室戸	総合	80	63	50	42	
安芸	普通	120 (60)	83	83	95	H28年度までは160人
安芸桜ヶ丘	工業(環建) [土木建築]	20	9	6	9	
	工業(環工)	40	11	3	4	H30年度から募集停止
	商業(情ビ)	40	21	14	14	
城山	普通	80	61	40	46	
山田	普通	160	110	121	128	H29年度から単位制
嶺北	普通	40	29	26	30	
	普通	80	26	22	29	
高知農業	農業(農総)	40	40	41	40	
	農業(畜総)	40	32	28	36	
	農業(森総)	40	22	24	21	
	農業(環土)	40	27	31	35	
	農業(食ビ)	40	35	37	33	
	農業(生総)	40	40	32	40	
高知東工業	工業(機械)	40	31	40	35	
	工業(機械シ)	40	28	30	24	
	工業(電子)	40	26	24	27	
	工業(電機)	40	24	30	29	
岡豊	普通	240	240	240	239	
	普通(芸術コース)	40	23	25	24	
高知東	普通(体育コース)	40	33	40	40	
	総合	200	200	198	200	
高知南	看護(看護)	30	24	24	30	
	普通	200 (100)	169	194	200	H35年度統合完了
高知工業	国際(国際)	40 (20)	28	35	36	
	工業(機械)	40	40	40	40	
高知工業	工業(電気)	40	35	34	35	
	工業(情技)	40	37	34	38	
	工業(工化)	40	35	40	40	
	工業(土木)	40	40	40	40	
	工業(建築)	40	40	40	40	
	工業(総テ)	40	36	37	39	
	普通	280	265	279	252	
高知追手前	吾北	40	23	23	19	
	普通	140	141	141	140	
高知丸の内	音楽(音楽)	10	9	7	10	
	音楽(音楽)	30	20	21	13	
高知小津	普通	240	226	241	240	
	理数(理数)	40	24	29	40	
高知西	普通	240	236	240	240	
	外国語(英語)	40	40	41	40	H35年度統合完了
伊野商業	商業(キャリア)	160	145	139	147	
春野	総合	160	136	148	137	
高知海洋	普通	80	42	37	40	H29年度から単位制
	水産(海洋)	80	51	58	39	
須崎工業	船舶職員養成課程	[10]	[4]	[4]	[2]	
	工業(機械系) [機械]	20	31	40	12	
	工業(機械系) [造船]	20	25	17	13	
	工業(電情系) [電気]	20	22	19	9	
	工業(電情系) [電情]	20			10	
	工業(シ工系) [機制]	20	18	15	2	
須崎	工業(シ工系) [住環]	20			18	
	普通	120	64	97	92	H31年度統合完了 ※H29年度から学科改編
佐川	普通	80	52	47	35	
窪川	普通	80	34	41	26	
橋原	普通	80	56	32	43	
四万十	普通	40	13	13	9	
	普通(自環コース)	40	7	7	4	
大方	普通	80	38	32	32	H29年度から全日制

(注1) 安芸、高知南、中村の( )内の数字は、併設中学からの最大進学者の生徒数。  
 (注2) 高知海洋高校船舶職員養成課程の[ ]は内数  
 (注3) 嶺北、橋原、四万十の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

全日制

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
幡多農業	農業(園シ)	40	24	38	40	
	農業(アグリ)	40	27	28	30	
	農業(グリーン)	40	24	22	17	
中村	農業(コーディネート)	40	22	34	31	
	普通	200 (70)	184	161	200	
宿毛工業	西土佐	40	22	11	9	
	工業(機械) [機械]	20	17	14	17	
	工業(機械) [自車]	20	20	18	18	
	工業(建設) [土木]	20	19	20	19	
	工業(建設) [建築]	20	20	20	17	
	工業(電気)	40	19	19	16	
	工業(情技)	40	27	40	33	
宿毛	総合	120	106	89	82	H28年度までは160人
清水	普通	80	51	47	47	
県立計		5090	4004	4032	4007	

(注4) 清水の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

多部制単位制(昼)

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
中芸	普通(昼)	40	23	26	11	
高知北	普通(昼)	80	80	74	80	
合計		120 [0]	103	100	91	

多部制単位制(夜)

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
中芸	普通(夜)	40 [4]	8	17	18	
高知北	普通(夜)	40 [4]	134	124	101	
	看護(夜) (衛看)(技能連携)	40			4	H30年度から募集停止
合計		120 [8]	142	141	123	

(注1) 成人の[ ]は内数

定時制

学校名	学科(科)名	入学定員 [成人]	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
室戸	普通	40 [4]	11	11	17	
山田	普通	40 [4]	38	32	29	
高知東工業	工業(機械)	40 [4]	33	40	34	
	工業(機械)	40 [20]				
高知工業	工業(電気)	40 [20]	87	81	70	
	工業(土木)	40 [20]				
	工業(建築)	40 [20]				
高岡	普通	40 [8]	27	42	44	
須崎	普通	40 [4]	25	23	17	
佐川	普通	40 [8]	25	21	22	H31年度統合完了
大方	普通	40 [4]	28	26	21	
宿毛	普通	40 [4]	38	32	25	
清水	普通	40 [4]	19	21	19	
県立計		520 [124]	331	329	298	

(注1) 成人の[ ]は内数

通信制

学校名	学科(科)名	最低規模(該当に●)			備考
		H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
高知北		427	412	438	
大方		78	78	64	
合計		505	490	502	



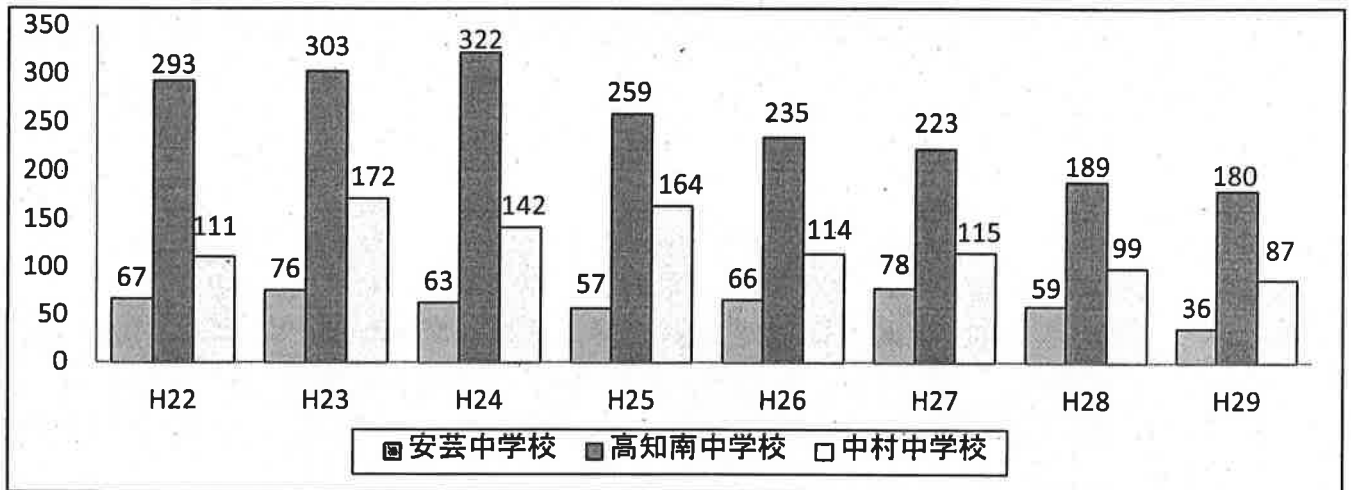
県立中学校入学者募集について

1 入学定員の推移(人)

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	70	70	70	35程度	35程度	70	30程度	30程度	60	30程度	30程度	60
高知南中	120	120	120	60程度	60程度	120	60程度	60程度	120	60程度	60程度	120
中村中	70	70	70	35程度	35程度	70	35程度	35程度	70	35程度	35程度	70

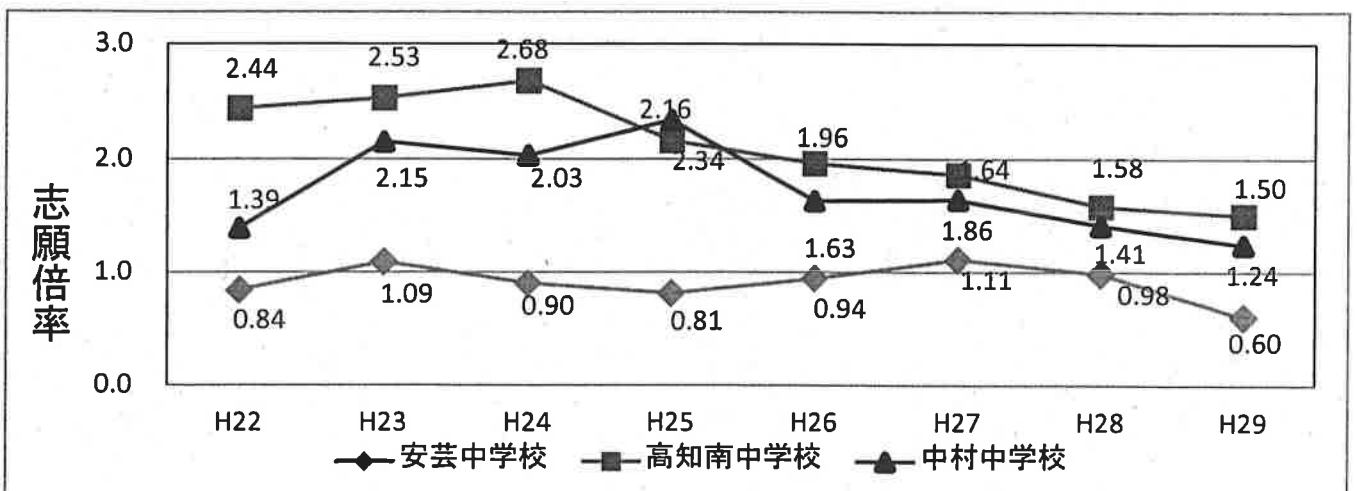
2 志願者数の推移(人)

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	63	57	66	39	39	78	31	28	59	10	26	36
高知南中	322	259	235	103	120	223	76	113	189	66	114	180
中村中	142	164	114	53	62	115	42	57	99	36	51	87



3 志願倍率の推移

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	0.90	0.81	0.94	1.11	1.11	1.11	1.03	0.93	0.98	0.33	0.87	0.60
高知南中	2.68	2.16	1.96	1.72	2.00	1.86	1.27	1.88	1.58	1.10	1.90	1.50
中村中	2.03	2.34	1.63	1.51	1.77	1.64	1.20	1.63	1.41	1.03	1.46	1.23



## 1 前期実施計画からの継続検討事項

- 中芸高校、安芸高校、安芸桜ヶ丘高校の3校の将来的な在り方を検討する必要がある。
  - ・安芸高校：南海トラフ地震への対応のため、適地への移転を検討する。
- 中村高校西土佐分校：2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合は、その翌年からの募集停止を検討する。
- 宿毛高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性を含め、将来の学校の在り方を検討していく。
- 清水高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、高台への移転を検討する。

## 2 「県立高等学校再編振興計画」で定めた適正規模に関する検討事項

### (1) 本校

〔記載内容〕 過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校。不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟な対応をするための支援体制を整えた学校については、特例として1学年1学級(20人)以上を最低規模として維持する。

〔現状課題〕 **中芸高校**：本年度下回る (H29年度：11人、H28年度：26人、H27年度：23人)  
**四万十高校**：本年度下回る (H29年度：13人、H28年度：20人、H27年度：20人)

### (2) 分校

〔記載内容〕 2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する。※「入学者が20人に満たない状況が3年間で2度ある」から基準を緩和

〔現状課題〕 **吾北分校**：本年度下回る (平成29年度入学生19人 [H28:23人、H27:23人])  
**西土佐分校**：2年連続下回る (平成29年度入学生9人、平成28年度入学生11人)

### (3) 併設型中高一貫教育校

〔記載内容〕 東部、中央部、西部の3地域での配置を維持する。

〔現状課題〕 **県立安芸中学校**の志願者が減少し、生徒確保が課題となっている。  
 ※平成29年度：定員60人、志願者36人、入学者35人

### (4) 総合学科の学校

〔記載内容〕 生徒数の減少等により複数の系列を置くことが困難な学校については、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。

〔現状課題〕 **室戸高校**の入学者が減少し、現在の4系列の維持が難しくなっている。  
 ※平成29年度：定員80人、入学者42人  
 ※現在の系列：文理総合系列、IT・アート系列、生活福祉系列、機械技術系列

### (5) 定時制(夜間部)

〔記載内容〕 最低規模については、様々な学びを保障するため、「1学年1学級10人程度以上」から「学校全体の生徒数を20人以上」に緩和し学校の維持に努める。

〔現状課題〕 **室戸高校**：3年連続下回る (H29年度：17人、H28年度：11人、H27年度：11人)  
**中芸高校**：3年連続下回る (H29年度：18人、H28年度：17人、H27年度：8人)  
**須崎高校**：本年度下回る (H29年度：17人)  
**清水高校**：2年下回る (H29年度：19人、H28年度：21人、H27年度：19人)

## 前期実施計画で明記した学校の在り方に係る現在の状況 (H29. 10 末現在)

	学校名	前期実施計画で明記した学校の在り方	平成 29 年 10 月末現在の状況
1	大方高校	<p><b>【昼間部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程や教育方法の改善による基礎学力の定着と進路実現を可能にする取組等を通じて教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。</li> <li>生徒の実態等を考慮し、単位制を生かしながらより効果的な教育を行うため、平成 29 年度より昼間部を全日制に改編する。</li> <li>不登校経験や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を整えた学校であり、特例として 1 学年 1 学級 (20 人以上) を最低規模として維持する。</li> </ul> <p><b>【夜間部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。</li> </ul> <p><b>【通信制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通信制については、多様な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、生徒の学習ペースに応じた学習を支援するとともに、進路実現を支援する。</li> </ul>	<p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の高等学校で唯一のコミュニティスクールであり、<u>学校運営協議会</u>を通じて地域連携を進めている。</li> <li>平成 28 年度の「<u>世界津波サミット</u>」への参加を契機として、本年度は生徒の防災委員を募集し、保小中高の連携による避難訓練など、地域貢献を視野に入れた防災教育に取り組んでいる。</li> <li>様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援を行うことを目的に、教育課程や進級等に関して柔軟な対応ができるよう、これまでの単位制での強みを生かしながら、さらに発展・充実できるように、<u>平成 29 年度から定時制昼間部を全日制の単位制に改編</u>した。具体的な取組としては、本年度から基礎学力の定着と学力向上を目指して、<u>1 年生全員を対象とした放課後加力補習を実施</u>している。</li> <li>学校設定科目の中に<u>地域に貢献できる人材を育成することを目的とした課題解決学習である「地域学」や、社会性を育成するための活動を実施する「ソピア」</u>を位置付けるなど、学校改革に取り組んでいる。</li> <li>多様な生徒が入学しているため支援体制の充実を図り、早期の情報共有により課題の解決につなげている。</li> <li>入学者数 (定員 80 人) は、平成 27 年度 38 人、平成 28 年度 32 人、平成 29 年度 32 人である。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定通併修等により 3 年間で卒業できる制度 (<u>三修制</u>) を導入している。</li> <li>様々な理由により、全日制から定時制に転学する生徒の学び直しの場としての役割や、全日制高校に合格できなかった生徒の学習をしたいという学びの場としての役割も果たしている。</li> <li>進路保障に向けて、<u>若者サポートステーションと連携</u>し、社会人に向けての講話やスキル獲得のための活動等を実施している。</li> <li>生徒会を中心とした行事を計画し、生徒間の親睦を図るなど学校生活の充実に努めている。</li> <li>在籍生徒数は、H27 年度 28 人、H28 年度 26 人、H29 年度 21 人である。</li> </ul> <p><b>【通信制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な理由から全日制高校で学ぶことができない生徒や、社会人として学び直しをしたいという生徒たちを受け入れている幡多地域で唯一の通信制課程である。また、中途退学をした生徒や子育て中の生徒を受け入れ、一人一人の生徒が目指す進路の実現に向けた教育活動に取り組んでいる。</li> <li>生徒会を中心として様々な行事に取り組み、生徒間の親睦と関係性の構築に努めている。</li> <li>進路保障の実現のために、就職希望者の支援のために<u>若者サポートステーションを活用</u>するとともに、<u>職場体験等を実施</u>している。また、進学希望者に対しては平日の進学補習を実施してサポートしている。</li> </ul>
2	幡多農業高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>幡多地域の農業教育の拠点校としての役割を担い、地域と連携した取組を積極的に行うとともに、専門的かつ高度な知識や技能を身に付けることのできる環境を整備し、社会の変化や産業の動向に適応した次世代を担う農業関係者を育成するとともに、生徒数の確保に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>アグリパークはたのう推進事業やアグリっ子活動支援事業</u>などをおして、生徒が主体的に地域貢献活動や地元企業等と協働し、学校生産物を活用した新商品の開発に取り組んでいる。</li> <li>多くの農業体験活動の場を設けるとともに、地域の農家や農業法人との連携を視野に入れ、<u>次世代型農業に向けた先進技術の研究や、GAP 教育 (農業生産工程管理: 「よい農業の実践」を推進するための教育) の推進に向けた取組</u>を始めている。</li> <li>地域の小学生の体験学習を受け入れ、生徒が先生役を行う等、学んだことを伝えることで、深い学びを実践している。</li> <li>農業関連産業を担う人材や地域リーダーの育成のため、教育課程を工夫しながら、必要とされる専門科目や学力向上につながる科目の設定などを実施している。</li> <li><u>馬術部、陸上部及び女子ソフトテニス部は、連年にわたり優秀な成績を残すとともに、地域と一体となり熱心に取り組んでいる。</u>また、平成 29 年度から<u>ボート部が運動部活動の強化推進校 B に指定</u>されている。</li> <li>入学者数 (4 科合計定員 160 人) は、平成 27 年度 97 人、平成 28 年度 122 人、平成 29 年度 118 人である。</li> <li>グリーン環境科の入学者数 (定員 40 人) は、平成 27 年度 24 人、平成 28 年度 22 人、平成 29 年度 17 人である。</li> </ul>
3	中村高校 中村中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>幡多地域の進学拠点校として併設型中高一貫教育を推進し、生徒が希望する国公立大学や難関大学への進学を実現できる支援体制の充実等を通じて、教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。</li> <li>進学に向けた取組の成果を他の学校にも普及することで県全体の進学指導力を向上させる牽引校とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高では、教員の相互乗り入れによる<u>授業交流</u>を実施している。中学校では特に、<u>英国数は少人数授業の実施、数学・理科では高校の内容を先取り</u>して指導しており、中高一貫教育のメリットを生かしている。</li> <li>進学の体制として、補習や授業時間数増を行っている他に、地域との連携や部活動にも積極的に取り組み、自分の役割を感じ、人間力を高める取組を実施している。</li> <li>大学進学に向けた取り組みとして、様々なテーマでの<u>集団討論を実施</u>している。</li> <li>進学については、毎年、約 7 割の生徒が 4 年制大学へ進学しており、<u>国公立大学の合格者は、H26 年度 28 人、H27 年度 22 人、H28 年度 32 人</u>である。また、難関私立大学の過去 3 年間の合格者は、<u>早稲田大学 1 人、明治大学 2 人、立教大学 2 人、青山学院大学 1 人、同志社大学 7 人、立命館大学 7 人、関西大学 5 人、関西学院大学 10 人</u>である。</li> <li>高校の入学者数 (定員 200 人) は、平成 27 年度 184 人、平成 28 年度 161 人、平成 29 年度 200 人である。</li> <li>英語は 6 年間系統的に 4 技能を育成する教育内容で実施している。さらに、中高合同の教科会の実施の他にも、研修会を実施しており、この研修会については、他校にも呼びかけ実施している。</li> </ul>



	学校名	前期実施計画で明記した学校の在り方	平成 29 年 10 月末現在の状況
4	中村高校 西土佐分校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携や生徒一人一人に応じたきめ細かい支援体制を強化する取組等を通じて教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。</li> <li>平成 27 年度を起算年として、2 年連続して入学者が 20 人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校経験者等への丁寧な対応として、少人数によるインターネット学習教材を活用した取組を通して生徒の学力向上に努め、<u>進路決定率 100%</u>を達成している。</li> <li>生徒一人一人に役割ややりがいを持たせる取組として、<u>カヌー部の活動</u>、地域貢献としての「<u>地域ボランティア隊（ラポール）</u>」の活動を積極的に推進している。</li> <li>カヌー部については、平成 29 年度の 5 月の県大会において 7 種目で優勝し、男女ともに総合優勝を果たし、<u>2、3 年生の部員全員がインターハイ（全国大会）に出場</u>している。</li> <li>大阪府や愛媛県等に学校案内を送付する等の取組を通して、生徒確保に努めている。</li> <li>入学者数（定員 40 人）は、平成 27 年度 22 人、<u>平成 28 年度 11 人、平成 29 年度 9 人</u>である。</li> </ul>
5	宿毛工業高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>幡多地域の工業教育の拠点校として、これまでの教育活動を発展させ、ものづくりや資格取得への取組、地域と連携した取組等を通じて教育活動の充実を図り、就職から大学進学までの幅広い進路を保障することで、生徒数の確保に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国内ではまだ取り組んでいない若年者ものづくり競技大会（フライス盤）等の内容・分野にチャレンジできるよう、<u>西南工業団地の企業との連携（授業、工場見学、企業説明会等）</u>を促進している。また、<u>地元企業へのインターンシップ（2 年生で 5 日間）</u>も実施している。</li> <li>若年者ものづくり競技大会（フライス盤）、高校生全国ものづくり大会（自動車整備）で全国大会に出場。</li> <li><u>一人 2 資格取得</u>を目標に取り組んでいる。（平成 29 年度現在一人 1.6 資格）</li> <li>小中学校等への出前授業実施やものづくりで地元への還元をしている。</li> <li>宿毛マラソンや国道一斉清掃等、地域や行政と連携したボランティア活動が定着している。</li> <li>進路については、過去 3 年間の平均は、<u>進学が 4 割、就職が 6 割（内 4 割が県内、6 割が県外）</u>であり、幡多地域への就職は、就職全体の 10～15%である。</li> <li>入学者数（4 科合計定員 160 人）は、平成 27 年度 122 人、平成 28 年度 131 人、平成 29 年度 120 人である。</li> <li>電気科の入学者数（定員 40 人）は、<u>平成 27 年度 19 人、平成 28 年度は 19 人、平成 29 年度は 16 人</u>である。</li> </ul>
6	宿毛高校	<p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な進路希望に対応できるカリキュラムを生かして、個別指導の充実を図ることで、進路実現を可能にする取組等の充実を図り、生徒数の確保に努める。</li> <li>中高連携等を活用した部活動の活性化を行い、生徒が心身ともに成長できる学校を目指す。</li> <li>南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性も含め、将来の学校の在り方を検討していく。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定時制については、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。</li> </ul>	<p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合学科の本来の趣旨のもと、幅広い分野にわたる選択講座を設定して、生徒の多様な興味関心に応えている。年 2 回の公開授業では教員相互が参観して改善ポイント等を指摘し合う魅力ある授業づくりに取り組んでいる。また、<u>国公立大学への進学対応のステップコース</u>を設定して、進学希望の実現に取り組んでいる。</li> <li><u>国公立大学の合格者</u>は、H26 年度 5 人、H27 年度 4 人、H28 年度 2 人である。</li> <li>相撲、陸上、サッカー、バドミントン等は<u>小中学生との合同練習</u>を実施。レスリングについては、現在部員はいないが、施設を開放しており、今後は、部活動復活を目指している。</li> <li>入学者数（H27・28 年度は定員 160 人、H29 年度から 120 人）は、平成 27 年度 106 人、平成 28 年度は 89 人、平成 29 年度は 82 人である。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定通併修等により 3 年間で卒業できる制度（<u>三修制</u>）を導入している。</li> <li>計画的な進路指導を展開し、企業見学、講演、基礎学力の定着、個別指導の徹底をはかっており、生徒の状態も落ち着き、学力もこの 3 年で向上している。</li> <li>在籍生徒数（在籍定員 160 人）は、H27 年度 38 人、H28 年度 32 人、H29 年度 25 人である。</li> </ul>
7	清水高校	<p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度より実施している清水中学校との連携型中高一貫教育を推進する。地域との連携や多様なニーズをもつ生徒への支援体制を強化する取組等を通じて教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。</li> <li>過疎化が著しく、近隣に他の高校がない学校であり、特例として 1 学年 1 学級（20 人以上）を最低規模として維持する。</li> <li>南海トラフ地震による津波への対応のため、高台への移転を検討する。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定時制については、働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。</li> </ul>	<p><b>【全日制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度から清水中学校との連携型中高一貫教育を推進しており、連携授業による教員の相互乗り入れや、中高合同の部活動交流、防災教育、キャリア教育講演会、弁論大会等を実施している。</li> <li>教務部を中心に「<u>学力向上支援プロジェクト</u>」を実施し、家庭学習時間の確保に努めている。特に基礎学力の定着については、習熟度別学習や加力補習、インターネット学習教材の活用等を通じた取組を実施している。</li> <li>「<u>未来プロジェクト</u>」と題して、様々な場面を活用して、社会性や自己肯定感の育成、ポートフォリオによる進路指導を行っている。</li> <li><u>清水中学校 1 校から全員が入学</u>してきており、入学者数（定員 80 人）は、平成 27 年度 51 人、平成 28 年度 47 人、平成 29 年度 47 人である。（清水中学校からの進学率：H27 年度 44%、H28 年度 40.5%、H29 年度 46.1%）</li> <li>土佐清水市全体として、公共機関や教育機関の高台移転を推進しており、清水高校の高台移転について、<u>関係部署と平成 28 年度から定期的に協議</u>を行っている。</li> </ul> <p><b>【定時制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定通併修等により 3 年間で卒業できる制度（<u>三修制</u>）を導入している。</li> <li>個別支援を徹底し、外部機関とも連携しながら、生活規律の確立や社会性育成の取組を推進している。</li> <li>在籍生徒数（在籍定員 160 人）は、<u>H27 年度 19 人</u>、H28 年度 21 人、<u>H29 年度 19 人</u>である。</li> </ul>

## 再編振興計画での地域（現・旧市町村）別中学校卒業者数の推移（H30.3～H38.3は推計）

地域	高校	現市町村名	旧市町村名	H. 19. 3	H. 20. 3	H. 21. 3	H. 22. 3	H. 23. 3	H. 24. 3	H. 25. 3	H. 26. 3	H. 27. 3	H. 28. 3	H. 29. 3	増減	H. 30. 3	H. 31. 3	H. 32. 3	H. 33. 3	H. 34. 3	H. 35. 3	H. 36. 3	H. 37. 3	H. 38. 3	
幡 多 地 域	中 村 農 大 方	四万十市	中 村 市	312	340	347	356	343	320	300	331	319	313	320	▲ 15	305	275	281	287	254	255	279	240	259	
		黒 潮 町	佐 賀 町	38	26	38	42	29	24	36	29	26	24	24	32	▲ 9	23	26	12	22	14	13	14	19	15
			大 方 町	84	96	73	65	70	71	52	75	53	62	62	47	22	69	55	45	50	54	41	55	46	38
		計	計	434	462	458	463	442	415	388	435	398	399	399	399	▲ 2	397	356	338	359	322	309	348	305	312
	西土佐	四万十市	西土佐村	32	31	32	33	23	26	27	27	36	25	28	▲ 2	26	21	20	10	17	17	14	11	14	
	宿 毛 宿 工	宿毛市	宿毛市	205	224	230	231	237	220	206	187	175	174	167	▲ 26	141	173	137	128	148	134	157	145	145	
		三原村	三原村	17	14	17	15	11	18	9	10	8	12	12	▲ 1	11	6	13	6	7	7	0	5	5	
		大月町	大月町	51	56	67	50	60	56	50	42	41	52	30	8	38	43	24	39	31	25	27	24	20	
		計	計	273	294	314	296	308	294	265	239	224	238	209	209	▲ 19	190	222	174	173	186	166	184	174	170
	清 水	土佐清水市	土佐清水市	152	144	149	138	130	130	137	105	119	116	103	▲ 14	89	87	77	78	95	73	69	60	52	
	幡多地域計				891	931	953	930	903	865	817	806	777	778	739	▲ 37	702	686	609	620	620	565	615	550	548
	H29との増減				152	192	214	191	164	126	78	67	38	39	0		▲ 37	▲ 53	▲ 130	▲ 119	▲ 119	▲ 174	▲ 124	▲ 189	▲ 191
	全 体	公 立 計			6,079	6,053	6,045	5,969	5,771	5,795	5,482	5,331	5,354	5,290	5,275	▲ 352	4,923	4,829	4,590	4,495	4,566	4,346	4,473	4,133	4,102
国 公 立 計			6,236	6,210	6,199	6,121	5,930	5,949	5,639	5,489	5,492	5,422	5,408	▲ 346	5,062	4,963	4,726	4,615	4,688	4,469	4,596	4,252	4,224		
私 立 計			1,200	1,204	1,158	1,136	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	▲ 5	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,065	1,067	1,083		
県 内 計			7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,626	6,658	6,585	6,543	6,543	▲ 351	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307	

## 県立中学校生出身市町村における小学6年生の数について

## 1 県立安芸中学校

(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
室戸市	126	112	110	91	90	85	78	83	79	70	65	91	69	79	49
奈半利町	30	22	17	34	29	20	25	29	20	20	12	18	17	28	14
北川村	10	13	5	16	13	14	12	7	8	11	9	9	8	9	6
田野町	33	23	23	22	19	27	17	16	18	17	15	17	11	13	14
馬路村	14	7	16	10	9	2	6	4	4	8	8	6	5	8	13
安田町	32	21	21	20	10	25	19	17	7	8	11	13	13	10	10
安芸市	166	156	180	143	161	139	145	124	136	125	139	138	110	108	106
芸西村	37	35	28	31	44	32	32	23	26	33	35	16	42	23	19
香南市	332	363	293	328	324	372	333	313	316	291	297	287	287	280	285
計	780	752	693	695	699	716	667	616	614	583	591	595	562	558	516

## 2 県立高知南中学校

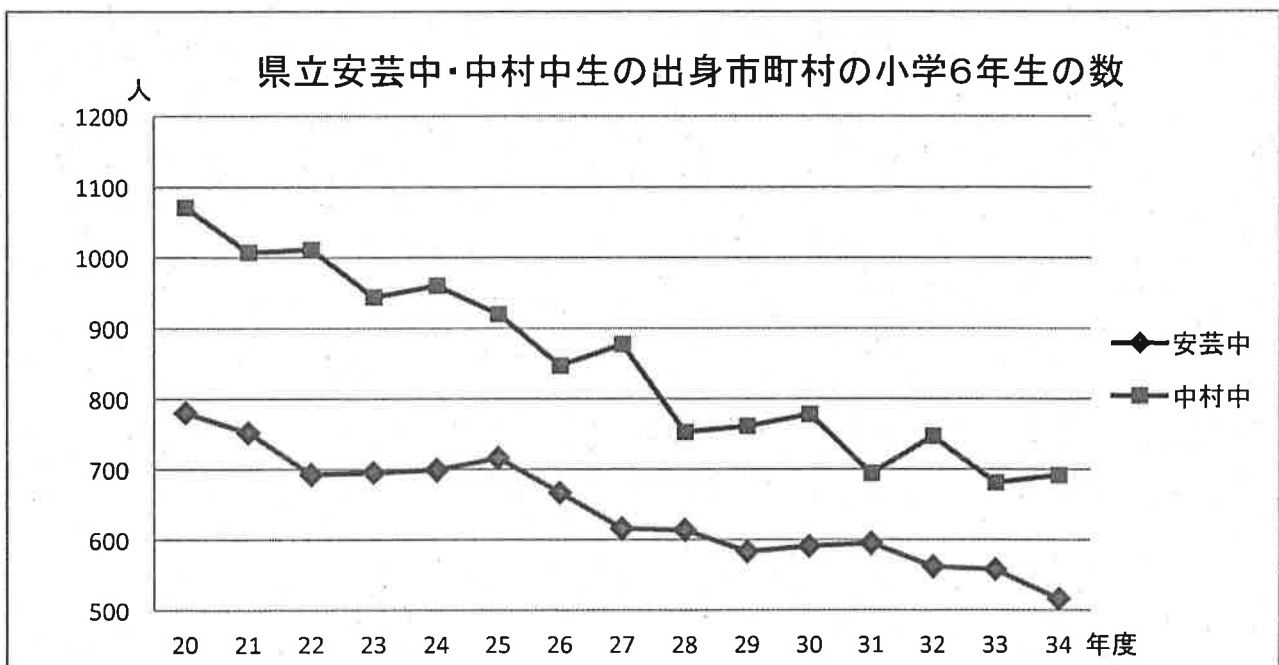
(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
香美市	264	195	213	219	223	213	184	186	189	186	193	197	201		
高知市	3078	3058	2923	3070	2985	3044	2900	2836	2744	2732	2750	2670	2711		
いの町	255	253	241	192	213	193	193	175	172	171	159	170	156		
南国市	526	491	470	478	480	451	423	426	410	449	403	395	419		
土佐市	233	256	246	254	251	283	246	200	225	212	217	216	224		
日高村	57	58	53	66	43	56	45	50	43	44	30	43	42		
計	4413	4311	4146	4279	4195	4240	3991	3873	3783	3794	3752	3691	3753		

## 3 県立中村中学校

(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
四万十町	177	168	172	148	154	153	120	159	134	117	134	105	108	107	120
黒潮町	109	102	116	82	93	90	100	96	64	82	78	64	79	75	63
四万十市	329	306	336	351	323	328	329	278	277	283	257	258	279	237	259
宿毛市	250	230	220	188	195	195	151	198	154	145	165	151	174	162	162
三原村	20	9	10	10	15	11	14	8	17	9	10	10	3	8	8
大月町	52	53	42	42	52	30	40	46	26	42	34	28	30	27	23
土佐清水市	134	139	115	123	128	113	93	92	81	83	100	78	74	65	57
計	1071	1007	1011	944	960	920	847	877	753	761	778	694	747	681	692



## 地域からの意見聴取

ア 黒潮町

イ 四万十市

ウ 宿毛市

エ 土佐清水市

## 会場からの意見聴取